

第64期

# 中間報告書

2018.4.1~2018.9.30

山一電機株式会社

証券コード：6941

## ■ グループ経営理念

山一電機グループは、人・企業・社会・地球とのより良い結びつきを柔軟な技術力と発想力をもって意欲的に創造する「もっとしなやかにベターコネクション」をコーポレートスローガンに、お客様の価値創出に貢献します。

### 1. 人の尊重

人を育て、人を活かし、会社の発展と個人の幸せの共有を目指します。

### 2. 企業価値の最大化

株主をはじめとしたステークホルダーの要請に応え、適正利潤を追求し、企業価値の最大化を目指します。

### 3. 企業品質の向上

信頼の最大の基盤である優れた製品品質と企業品質を提供することによって、顧客の満足を図ります。

### 4. 技術立社への挑戦

開発型企業として、たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、半歩先をゆく技術を提供します。

### 5. 社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、社会から信頼される企業であり続けます。

## 経営方針（第63期～第65期）

— 「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長する —

### 成長戦略

#### 技術力の強化によるグローバルニッチTOP製品の創出

- 伸びる地域・伸びる市場・元気な顧客・儲かる製品
- ユニークな製品、差別化した製品の開発

#### テストソリューション事業

- 新技術開発による販売拡大
- 新市場・新規顧客開拓による販売拡大
- グローバル連携強化による顧客サービスの向上

#### コネクタソリューション事業

- グローバルニッチTOP製品の創出
- IoTを視野に入れて通信・車載・産機・医療の4市場向け製品の拡充

#### 光関連事業

- 顧客の開発段階からのソリューション提案力強化
- 戦略的な新規開拓活動推進

### 構造改革

#### グループの効率化を更に追求

- グローバル管理体制の強化
- グローバルのモノづくりの効率化推進
- グローバルシステムの強化

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。2019年3月期第2四半期累計期間の連結業績につきましてご報告申し上げます。



代表取締役社長

太田 佳孝

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、各国・地域間の貿易摩擦拡大が懸念されるも、米国では設備投資の拡大や雇用環境の改善、個人消費の増加を背景に堅調さを維持し、欧州や日本においても緩やかな回復基調が続きました。

このような状況の下、当社グループは3ヵ年中期経営計画(2018年3月期～2020年3月期)を踏まえ、経営基盤の強化と収益の拡大を図ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高14,590百万円(前年同期比9.1%減)、営業利益2,300百万円(前年同期比11.0%減)、経常利益2,415百万円(前年同期比8.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,887百万円(前年同期比13.7%減)となりました。

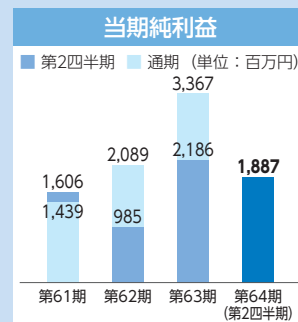
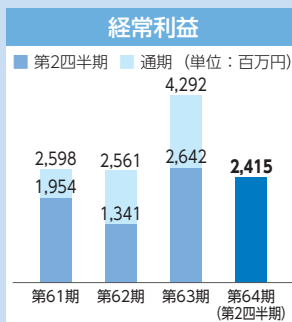
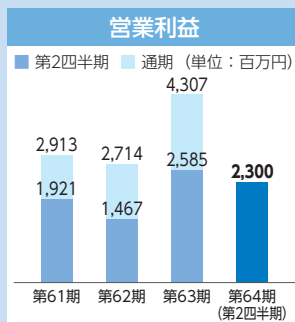
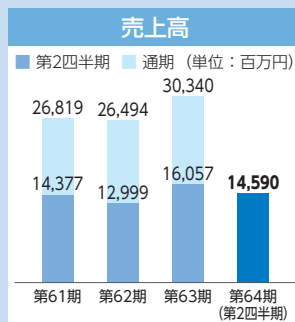
通期連結業績予想につきましては、当社グループが事業展

開を行っている半導体・電子部品関連市場においての市場環境と、直近の業績動向等を踏まえ、売上予想の修正を行い、利益面は期初予想値を据え置きました。通期連結業績予想は、売上高29,000百万円(前期比4.4%減)、営業利益4,000百万円(前期比7.1%減)、経常利益3,900百万円(前期比9.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益3,100百万円(前期比7.9%減)としております。

なお、中間配当につきましては、1株当たり10円といたしました。期末配当につきましては1株当たり20円、通期では30円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともますますのご支援とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

## ■ 連結業績ハイライト

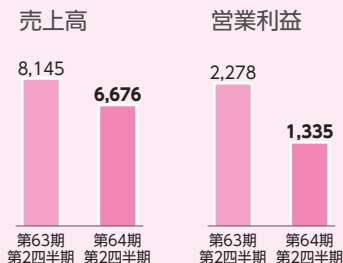


## テストソリューション事業

検査用ICソケット、プローブカード、FPC検査用ソケット、半導体テストサービス

売上高構成比  
**45.8%**

(単位：百万円)



### ランダムピッチ対応ソケットを開発

スーパーハイビジョン放送や高解像度のIP映像配信では最先端の画像処理技術が求められています。これらを支える半導体は外部接続部分のピッチや配列が多種に亘っています。当社では長年に亘り蓄積した技術力で、不規則なピッチや配列へフレキシブルに対応できるハイパワーデバイス向けソケットを開発いたしました。今後もお客様のニーズにお応えする技術開発に取り組み、最適なテストソリューションを提供してまいります。



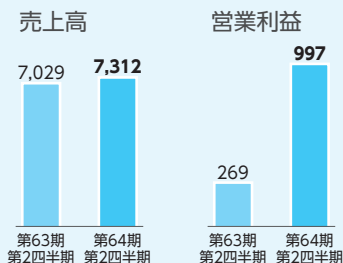
ランダムピッチ対応ソケット

## コネクタソリューション事業

コネクタ、実装用ICソケット、フレキシブルプリント配線板 (YFLEX®)

売上高構成比  
**50.1%**

(単位：百万円)



### 「5G対応」光通信モジュール用コネクタを開発

さまざまなモノがインターネットに接続されるIoT化が急速に進み、通信回線を利用するデータ量の増加が見込まれ、第5世代移動通信システム (5G) のインフラ整備が加速しております。

当社は、この次世代無線通信システム向けに新たに規格化された「DSFP」光通信モジュール用コネクタを開発いたしました。

今後も市場ニーズを先取りし、快適な通信環境をサポートできる製品開発に取り組んでまいります。



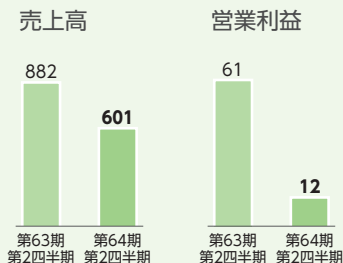
「5G対応」  
光通信モジュール用コネクタ「DSFP」

## 光関連事業

RGBフィルタ、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、半導体レーザー光源

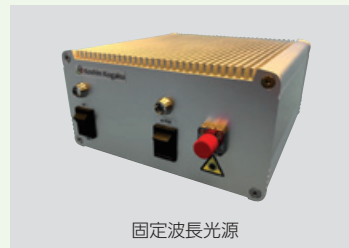
売上高構成比  
**4.1%**

(単位：百万円)



### 低ノイズ、狭スペクトラム線幅を実現した固定波長レーザー光源を製品化

第5世代移動通信システム (5G) のインフラとして高速大容量光通信システムが必要になっています。現在その実現に向けて装置実装型コンポーネントの開発が進められており、キーコンポーネントであるレーザー光源には低ノイズ、狭スペクトラム線幅という機能に加え、コンパクトな筐体が要求されています。光関連部門では独自の高精度光学薄膜形成技術と外部共振器設計技術を応用し、システム組込型の固定波長光源を開発し製品化いたしました。



固定波長光源

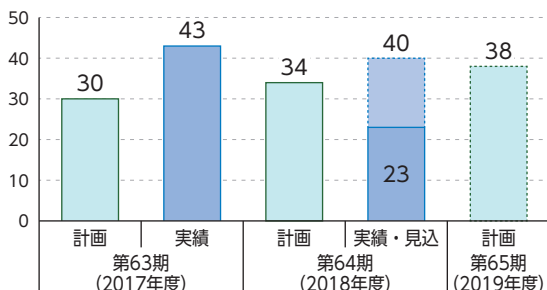
## 中期経営計画（第63期～第65期）進捗のご報告

### 「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長する

・・・ 中期経営計画の2年目がスタート ・・・

中期経営計画：連結営業利益目標

（単位：億円）



「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長することを経営方針とし、「グローバルに連携し、未来につながる製品の創造」という観点から2017年度に策定した中期経営計画（第63期～第65期）の2年目がスタートしました。

『成長戦略』と『構造改革』を核とした基本戦略を引き続き推進し、お客様のニーズに応えられる企業に成長するとともに、より一層の財務体質の強化と将来の成長に向けた経営基盤の強化を図ってまいります。

#### ◇ 基本戦略

##### I. 成長戦略：グローバルニッチTOP製品の創出

- ・「伸びる地域・伸びる市場・元気な顧客・儲かる製品」
- ・「ユニークな製品、差別化した製品の開発」

##### II. 構造改革：グループの効率化を更に追求

- ・グローバル管理体制の強化
- ・グローバルのモノづくりの効率化推進
- ・グローバルシステムの強化

#### ●業績目標

連結売上高	853億円以上／3カ年累計額
連結営業利益	102億円／3カ年累計額

	中期計画目標値	2018年度計画
●ROE	10%以上	10%以上
●配当	連結配当性向30%	30%を目指す (2019年度末)
●設備投資	70億円／3カ年累計額	22.8億円



## 自己株式の取得について

取締役会決議内容			自己株式取得実績		
決議日	取得上限株数	取得上限金額	取得株数	取得金額	取得期間 (受渡日基準)
2018年2月23日	200,000株	300,000,000円	159,600株	299,947,800円	2018年3月6日～2018年4月11日
2018年5月25日	300,000株	500,000,000円	291,000株	499,901,300円	2018年6月1日～2018年7月5日
2018年11月5日	400,000株	500,000,000円	—	—	—

【ご参考】新たな自己株式取得に関して取締役会にて決議いたしました。

配当と自己株式取得により、引き続き総還元性向の向上を図ってまいります。



# 連結財務諸表

## ■第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (2018年9月30日現在)	前期末 (2018年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>17,928</b>	<b>17,802</b>
現金及び預金	7,472	7,188
受取手形及び売掛金	5,609	5,799
たな卸資産	3,914	3,466
その他	932	1,347
<b>固定資産</b>	<b>12,380</b>	<b>12,627</b>
有形固定資産	9,723	9,751
無形固定資産	124	121
投資その他の資産	2,532	2,755
<b>繰延資産</b>	<b>0</b>	<b>1</b>
<b>資産合計</b>	<b>30,309</b>	<b>30,431</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>6,093</b>	<b>6,863</b>
支払手形及び買掛金	1,586	1,675
短期借入金	2,083	2,435
その他	2,423	2,751
<b>固定負債</b>	<b>1,096</b>	<b>1,382</b>
社債	-	22
長期借入金	734	918
その他	362	442
<b>負債合計</b>	<b>7,190</b>	<b>8,246</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>22,895</b>	<b>22,254</b>
資本金	10,084	10,084
資本剰余金	1,811	1,814
利益剰余金	12,169	10,961
自己株式	△ 1,170	△ 605
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>22</b>	<b>△ 232</b>
<b>新株予約権</b>	<b>84</b>	<b>51</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>118</b>	<b>112</b>
<b>純資産合計</b>	<b>23,119</b>	<b>22,185</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>30,309</b>	<b>30,431</b>

## ■第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
<b>売上高</b>	<b>14,590</b>	<b>16,057</b>
売上原価	9,214	10,397
<b>売上総利益</b>	<b>5,375</b>	<b>5,659</b>
販売費及び一般管理費	3,074	3,073
<b>営業利益</b>	<b>2,300</b>	<b>2,585</b>
営業外収益	149	100
営業外費用	34	43
<b>経常利益</b>	<b>2,415</b>	<b>2,642</b>
特別利益	0	11
特別損失	-	13
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>2,415</b>	<b>2,639</b>
法人税、住民税及び事業税	497	527
法人税等調整額	29	△ 74
<b>四半期純利益</b>	<b>1,888</b>	<b>2,186</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>1,887</b>	<b>2,186</b>

## ■第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,604	2,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 586	△ 814
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,908	257
現金及び現金同等物に係る換算差額	174	58
現金及び現金同等物の増減額	283	2,102
現金及び現金同等物の期首残高	7,188	5,723
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,472	7,825

## 会社の概要

商号	山一電機株式会社
所在地	東京都大田区南蒲田2丁目16番2号
設立	1956年11月
資本金	100億8,410万円
従業員数	358名 (連結1,615名)
主な事業内容	1. テストソリューション事業 2. コネクタソリューション事業 3. 光関連事業

## 株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	23,329,775株
株主数	6,859名
単元株式数	100株
大株主	

株主名	持株数	持株比率
	株	%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	5,293,900	23.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,407,000	6.30
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	729,600	3.27
株式会社三井住友銀行	619,300	2.77
山一電機取引先持株会	462,800	2.07
日本生命保険相互会社	421,075	1.88
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	416,400	1.86
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	407,352	1.82
MSCO CUSTOMER SECURITIES	394,833	1.77
山一電機従業員持株会	367,688	1.64

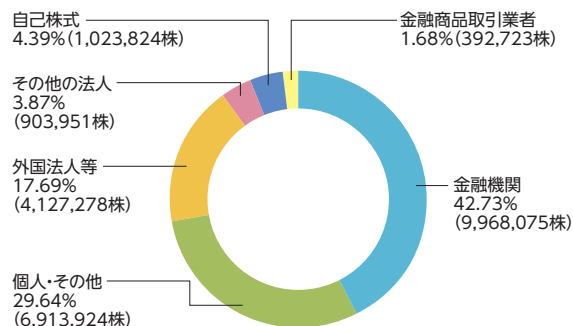
(注) 1. 当社は、自己株式を1,023,824株所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式1,023,824株を控除して計算しております。

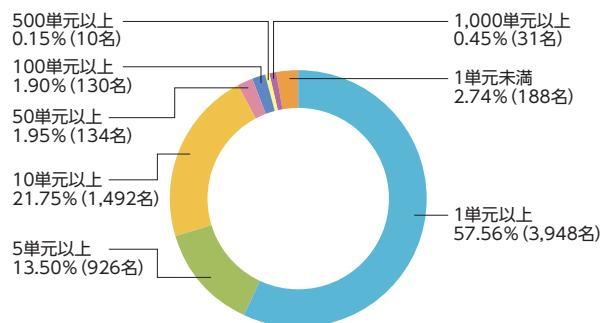
## 役員

代表取締役社長	太田 佳孝	常勤監査役	加藤 勝市
取締役	土屋 武	社外監査役	多田 郁夫
取締役	亀谷 淳一	社外監査役	吉澤 壽美雄
取締役	松田 一弘		
取締役	岸村 伸洋		
社外取締役	楠 美憲章		
社外取締役	村田 朋博		
社外取締役	佐久間 陽一郎		

## 所有者別株式数分布状況



## 所有株数別株主数分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第一部：証券コード6941)
公告の方法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

### 【お知らせ】

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いきませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## IRサイトのご案内

当社では、Web上で「投資家情報」として次のような情報を公開しています。今後も、「株主のみなさまへ」の情報開示の内容を充実し、迅速に開示を行っていく所存です。

Web上で  
ご覧いただける  
投資家情報

- IRカレンダー
- 決算短信
- 株主のみなさまへ
- 有価証券報告書
- 株主総会
- 株主優待制度

<http://www.yamaichi.co.jp/ir/tabid/87/Default.aspx>

## 山一電機株式会社

〒144-8581 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号  
テクノポート三井生命ビル  
☎03-3734-0115 (代表) ☎03-3734-0120  
ホームページアドレス <http://www.yamaichi.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

